

# 令和7年度 野田市立関宿小学校 全体構想（グランドデザイン）

**目指す学校像**

(1) あたたかい学校（温かさと優しさに満ちた学校）  
 (2) 強さのある学校（強い心で何事にもやる気を持って挑む学校）  
 (3) 楽しい学校（向上心があり笑顔があふれる学校）

**地域・保護者の願い**  
 歴史と文化に誇り  
 学校と地域で育てる  
 小中連携の積み重ね  
 九年間落ち着いた環境  
 地域との連携  
 明るく素直に成長

**学校教育目標**

**心豊かなたくましい児童の育成**

～一人ひとりが輝く みんなで作る関宿小～

**偉人の教え**  
 『貴為和以』  
 『正直に腹を立てず  
 に構わず励め』  
 『集い鍛えよ知と力』

**目指す児童像**

(1) 自ら学び、考え、  
進んで活動できる子  
 (2) 豊かな心で、  
思いやりがある子  
 (3) 健康で明るく、  
がんばる子

**基本方針**

(1) 一人ひとりの児童・教職員が輝くことができる学校を創る  
 (2) 「チーム関宿」で、児童を伸ばし育てるための創意と工夫に努める  
 (3) 地域とつながり、地域を誇りとし、地域を語るができる子どもを育てる  
 (4) 主体的に生きる力を育成するために、コミュニティ・スクールを活用し小中連携を深めていく

**目指す教師像**

(1) 児童の思いや願いをくみ取れる感性豊かな教職員  
 (2) 教育公務員として自覚を持ち、だれからも信頼される教職員  
 (3) 保護者や地域の方と児童の教育に連携・協力し合って当たる教職員  
 (4) 専門職としての指導力の向上を目指し、絶えず学び続ける教職員  
 (5) 心と身体の健康を保つことのできる教職員

**学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と小中連携**

(1) 地域・保護者・学校の理解、連携      (2) 小中学校合同行事による活動活性化      (3) 小中学校合同研修の実施

**重点目標**

(1) 日常的、計画的な安全教育を継続する。（危険の予測、回避できる能力の育成）  
 (2) 意欲を高め、喜びを感じさせる学習指導、生活指導に努める。  
 (3) 児童理解を深め、一人ひとりのニーズに応じた指導と支援を丁寧に進める。  
 (4) 教育活動の中で、自己肯定感が高まるような工夫を取り入れていく。  
 (5) 教育活動を通して、低学年では非認知能力が高まる工夫をする。  
 (6) 保健指導、食育指導等を通して、健康づくりや感染症対策に留意させる。  
 (7) ICT活用実践を積み重ね、効果的な活用方法を一般化していく。  
 (8) 学校支援地域本部・地域の方々と連携を図り、地域の教育力を活かす。  
 (9) 質の高い教育の実践に向けて業務改善を更に進めていく。  
 (10) 関宿ならではの特色ある取り組みを大切に、その情報を積極的に発信する。



**学力向上の取り組み**

(1) 支持的風土を醸成する。＝互いに認め合い、支え合う集団づくり  
 (2) 非認知能力（自己認識・意欲・忍耐力・自制心・メタ認知ストラテジー・社会的能力・回復力・対処能力・創造性・性格的な特性）を伸ばす工夫をする。＝愛情を注ぐ、共感する、自信を持たせる。  
 (3) 自己肯定感を高める工夫をする。＝自分に対する他者からの評価、褒めるではなく認める。

授業改善PDCAサイクル①	学び方を定着させる②	指導体制を工夫する③	家庭と連携する④	校内研修を充実させる⑤
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体の指導計画の見直しを持つ</li> <li>・学ぶ意味を持たせる学習問題を設定する</li> <li>・思考を深めるように発問を工夫する</li> <li>・書く目的、内容、方法を明確にした指導をする</li> <li>・次の学習や生活に活かせるまとめをする</li> <li>・違いを認め合い、他を尊重する姿勢を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な学習規律を早期に確立する</li> <li>・自ら教材に取り組む意欲を醸成する</li> <li>・言語活動を充実した学習過程を意識させる</li> <li>・図書館教育を充実させる</li> <li>・算数専科の授業実施</li> <li>・中学校教員の交流授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Sタイムを充実させる →ICT活用 →読書習慣の向上 →学びの繰り返し</li> <li>→読み聞かせの充実</li> <li>・個人差に応じた指導 →取り出し指導の実施</li> <li>・少人数指導を充実する →低中学年はTT →高学年は習熟度別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝早起き朝ごはんの推奨</li> <li>・基本的生活習慣の定着</li> <li>・家庭のメディア利用を把握しルール作りをする</li> <li>・家庭との課題の共通理解を図る</li> <li>・家庭での学習の習慣化を図る→自主的な家庭学習を習慣化させたい</li> <li>・非認知能力を伸ばす、自己肯定感を高める連携を行っていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週金曜日の15時より研修の時間確保</li> <li>・日常的に学び合う場を設定する。（朝を中心に）</li> <li>・算数科における研修を充実させる</li> <li>・ICT機器の活用研修を行う</li> <li>・掲示板を活用して職員間の情報伝達・情報共有をスムーズに行う</li> <li>・「話し方」「聴き方」の工夫と実践を行なう</li> </ul>

